



通信

HP 学校だより
R5.11.17
NO.28
文責 伊藤美佳



学芸会を終えて

11日(土)の学芸会には、多数の来賓、保護者の皆様にお越しいただき、子どもたちの「がんばるぞ!」という気持ちに拍車がかかったように感じられました。お帰りの際には、「とてもよかったよ。」「子どもたちががんばっていたね。」といった、お言葉をかけていただけたこと、たいへんうれしく感じます。教職員、子どもたちに伝えていき、今後の励みにしたいと思います。多くの皆様に子どもたちの成長した姿を見ていただけたことに感謝いたします。

今年度の学芸会は、インフルエンザの流行時と重なり、思うように練習ができなかったために、どう劇を通しきるか、背景画や大道具、台を短時間でどう動かすかなど、考え、工夫する点が多かったように思います。これこそ「どうする とよさか (子ども&教職員)」だと思います。困難なことが起こったとき、逃げるのではなく、どう乗り切るかを考えることで人は成長できると思うと、今年度の学芸会で、子どもたちも先生方も成長できたと確信しています。

6年生は、本番の週の月、火、水と練習できず、木曜日に練習し、金曜日の5時間目には6年生の校内学芸会として他学年に披露しました。6時間目に少し修正を加えたと思いますが、本番は校内学芸会よりパワーアップした演技を見せてくれました。ミュージカルですので、本来なら一曲終わったところで拍手をすべきだったと思いますが、それを忘れてしまうくらいの熱演もありました。

「目標に向かって自ら進んでいく力」、子どもたちがつけてくれることを強く願います。

季節を感じる

今年もまた、地域の方からコスモスや皇帝ダリアをいただきました。ありがとうございます。昨年も同じ時期に美しく咲き誇るお花をいただき、来賓玄関に飾らせていただきました。美しいお花を愛でながら季節を感じる、なんて心豊かな時間でしょう。

ナスおじさんたちがナス畑やナスの鉢を片付けるのを手伝っていただきました。ナスの季節が終わり、ビオトープの畑には2年生が植えたダイコンが大きな葉っぱを広げています。ナスの鉢を片付けながら、来年もたくさんなってくれることを願いました。ナス畑に植えられていたピーマンはたわわに実っており、強い生命力を感じました。子どもたちは、作物を育てることで、季節を直に感じられたことでしょう。大切な学びです。

南館(仮)に屋根がつきました

本館南に増築中の校舎に屋根がつきました。建物が出来上がるまでを身近に見られることも、すごく新鮮です。子どもたちにも、「屋根がついたね」「窓がついたね」などと話をしています。6年生の子どもたちは「私たちは入れないんだよね。」と言っていました。3月上旬の完成をめざしているので、卒業式前には入ることができると思います。お楽しみに!